

東北 I M 連携協議会（T A I M）第 1 4 回総会

期日：令和 2 年 6 月 5 日

場所：書面開催

次第

1. 開会

2. 挨拶 東北 I M 連携協議会代表幹事 柿崎 博美

3. 議長選出

4. 議事

1) 第 1 号議案

- ・令和元年度事業報告について
- ・令和元年度収支決算報告について

2) 第 2 号議案

- ・令和 2 年度事業計画（案）について

3) 第 3 号議案

- ・役員会改選（案）について

4) その他

5. その他

6. 閉会

1) 第1号議案

・令和元年度事業報告

① 東北IM連携協議会ワークショップ in 能代 資料1

期 日 : 令和元年6月6日(木) 13:20 ~ 総会、ワークショップ
7日(金) 9:30 ~ 視察(能代商工会議所、能代火力発電所)
会 場 : 秋田県能代市 プラザ都
参加人数 : 58名(各県IM、地域大学、関係機関、金融機関、企業等)

② 東北IM連携協議会ワークショップ in 南相馬 資料2

期 日 : 令和元年10月17日(木) 13:30 ~ 講演・事例紹介・アワード等
18日(金) 9:00 ~ 視察(福島県ポットテストフィールド、他)
会 場 : 福島県南相馬市 ホテルラフィース
参加人数 : 82名(各県IM、地域大学、関係機関、金融機関、企業等)

③ 各県IMスキルアップ研修への協力

・北東北スキルアップ研修

研 修 名 : 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和元年度総会・第1回スキルアップ研修会
期日場所 : 令和元年7月23日(火) 青森市 AOMORI STARTUP CENTER 47名

研 修 名 : 青森県インキュベーション・マネージャーネットワーク協議会
令和元年度第2回スキルアップ研修会
期日場所 : 令和2年1月24日(金) 青森市 AOMORI STARTUP CENTER 35名

・南三県合同研修会

研 修 名 : 令和元年度南三県合同研修会
期日場所 : 令和元年8月28日(水) 中小機構東北本部 セミナー室 33名

④ ビジネスマッチ東北2019 出展・マッチング協力

期 日 : 令和元年11月7日(木)
会 場 : 宮城県仙台市 夢メッセみやぎ
参加内容 : マッチング協力

⑤ J B I Aシンポジウム 開催後援

期 日 : 令和元年度11月14日(木)
会 場 : 東京都港区 機械振興会館6階 全国各地から54名の参加
参加内容 : 女性シニアIMの活動と事例の紹介

⑤ 幹事会

「第 24 回東北 I M連携協議会幹事会」

期 日 : 令和元年 5 月 22 日 (水)
時 間 : 14 : 00～
場 所 : 国立研究開発法人産業総合研究所 仙台青葉サイト会議室
協議事項 : 1) 東北 I M連携協議会事業について
・ R1 ワークショップ状況報告 (能代・南相馬)
・ R1 青森県、南三県スキルアップ研修計画について
・ 他
2) 女性起業家等ネットワーク構築事業について
・ 事業経過及び R1 事業計画について
3) 情報提供
・ 東北経済産業局様より
・ みやぎ産業振興機構様より
4) その他

「第 25 回東北 I M連携協議会幹事会」

期 日 : 令和 2 年 3 月 4 日 (水)
時 間 : 14 : 00～
場 所 : 独立行政法人中小企業基盤整備機構 東北本部セミナー室
協議事項 : 1) 東北 I M連携協議会事業について
・ R1 ワークショップ報告 (能代・南相馬)
・ R2 ワークショップ計画 (山形・宮城)
・ R1 青森県、南三県スキルアップ研修報告及び R2 計画
・ fy31 ワークショップ計画について (秋田・福島)
・ 他
2) 女性起業家等ネットワーク構築事業について
・ 事業経過及び次年度計画 (自走化) 等について
3) 情報提供
・ 東北経済産業局様より
4) その他

⑥ ホームページとメーリングの運営

東北 I M連携協議会ホームページ運用 : <http://www.taim.jp/>

会員の情報発信や交流のアイテムとして活用中。会員各位の活用やご意見をお待ちします。

登録数 : 122 アドレス

メーリングリストの運用 : 会員 taim02@taim.jp

役員 touhoku-im@taim.jp

⑦ 令和元年度女性起業家等支援ネットワーク構築事業への協力

事業概要 : 女性の起業を支援するため、構成機関と女性起業家等支援ネットワークが連携してイベントやセミナーを開催し、これまで手薄だったフェーズ 0. 1. 支援の充実を図ると同時に、女性起業家等支援ネットワークの活動紹介や起業アテンダントとの連携支援を提案し、女性の起業支援に対する理解と普及を実施した。

協力内容 : 連携イベントやセミナー開催協力

- ・東北各県での起業相談会の開催
- ・東北各県セミナーでの事業説明実施（青森 2、奥州、福島、会津若松、花巻、一関）

東北 I M 連携協議会ワークショップ in 能代 開催報告

秋田県能代市で開催。J B I A 星野会長による基調講演や重巢幹事の講演に続き、能代市商工港湾課より能代市の取組、能代商工会議所よりの会議所の起業家支援について説明した。その後、5 グループに分かれてワークショップを行い、様々な意見が出され有意義な時間となった。

【開催概要】

- | | |
|-----|--|
| 日 時 | 2019 年 6 月 6 日（木）～7 日（金） |
| 会 場 | 総会・ワークショップ：プラザ都（秋田県能代市柳町 9-23）
交流会：プラザ都（秋田県能代市柳町 9-23） |
| 内 容 | 開会挨拶（柿崎代表幹事、東北経産局 柏次長、能代市 齊藤市長）
講演（星野会長、重巢幹事、能代市 大山主査）
グループワーク（5 グループ）
モデレーター：鈴木幹事、上平幹事、田中幹事、阿部シニア IM、菊池シニア IM
交流会
見学会・昼食会（能代火力発電所、旧料亭金勇、能代商工会館7F・7F） |
| 参加者 | 総会・ワークショップ 51 名、交流会 58 名、見学会 28 名、昼食会 28 名 |
| 主 催 | 東北 I M 連携協議会 |
| 共 催 | 東北経済産業局、（一社）日本ビジネス・インキュベーション協会（JBIA）、
女性起業家支援ネットワーク |
| 後 援 | （一財）日本立地センター、（独）中小企業基盤整備機構東北本部、
秋田県、能代市、日本政策金融公庫 秋田支店、秋田県信用保証協会、
公益財団法人 あきた企業活性化センター、二ツ井町商工会、
能代商工会議所 |

【効果など】

地域の経済団体である「商工会議所」の支援について知っていただく機会をいただき感謝いたします。そして、当所では女性に特化した起業支援を行っているため、グループワークでは2名の小規模女性起業家の事例を取り上げ、今後の展開や悩みについて討論していただきました。多くの意見や提案を事業者が直接聞くことができたことは大変よい機会であったと思っております。また、当所と致しましても今回の討論内容を参考に伴走型支援を行い、起業家の経営の発展に助力いたします。ありがとうございました。

東北 IM 連携協議会ワークショップ兼アワード in 南相馬 開催報告

下記、ワークショップ並びに「TAIM アワード」表彰式を行った。開催テーマを“国策と地域産業創造”として JBJA 星野会長の基調講演を頂くとともに、国策「イノベーション・コースト構想」を題材としたパネルディスカッション形式による事例紹介と討議を実施した。また、アンケートによる参加者の意見集約も実施した。

- 主 催 東北 IM 連携協議会
- 共 催 東北経済産業局、日本ビジネス・インキュベーション協会 (JBIA)、
(株)ゆめサポート南相馬、(特非) 相双 NPO センター
- 後 援 福島県、南相馬市、(一財) 日本立地センター、(独) 中小企業基盤整備機構東北支部、原町商工会
議所、小高商工会、福島県インキュベート施設ネットワーク協議会、
東北起業女子応援ネットワーク
- 会 場 ホテルラフィーナ
- 日 時 ■令和元年 10 月 17 日 (木)
- | | |
|-------------|--------|
| 受付 | 13:00～ |
| 開会 | 13:30～ |
| 開催地挨拶 | 13:50～ |
| 講演・情報提供 | 14:00～ |
| TAIM アワード | 15:00～ |
| パネルディスカッション | 15:20～ |
| 交流会 | 18:00～ |
- 令和元年 10 月 18 日 (金) 09:00～
- 見学先
「福島ロボットテストフィールド」、「農家民宿いちばん星」、「SA セデッテかしま」

参加人数 92名

TAIM アワード 【団体】株式会社ゆめサポート南相馬 殿
【個人】斎藤 方達 殿 (株式会社テクノプラザみやぎ)

【詳細・効果】

南相馬市でのワークショップ開催は平成 19 年(東北地域 IM 交流研究会)以来、12 年ぶりの実施となった。従前の産業課題に加え、東日本大震災ならびに原子力発電所事故災害からの復興課題も抱える当地において、TAIM 会員並びに関係各位とのネットワーク強化や、同課題解決に向けた意見の集約を図る事が可能となり、貴重な機会となった。また、設置中の福島ロボットテストフィールドの視察や情報発信を行うことにより、広域産業連携等の効果も期待できる取り組みとなった。

・令和元年度収支決算報告

東北 I M 連携協議会ワークショップ in 能代 収支決算 令和元年 6 月 6 日～7 日 (単位：円)

収入の部					支出の部				
N o	名目	単価	員数	金額	N o	名目	単価	員数	金額
1	会場費・横幕	1		85,320	1	会場費・横幕	1		85,320
2	参加費	1,000	48	48,000	2	交流会費	5,000	58	290,000
3	交流会費	5,000	58	290,000	3				
収入合計				423,320	支出合計				375,320
差引金額									48,000

・会場借用料 70,200 円、横幕 15,120 円は東北経済産業局様、から助成を受けております。

・ワークショップの消耗品 (18,444 円) については、能代商工会議所様にご負担を頂いております。

・マイクロバス 2 台は、プラザ都様、能代市役所様にご協力を頂いております。

東北 I M 連携協議会ワークショップ in 南相馬 収支決算 令和元年 10 月 17 日～18 日 (単位：円)

収入の部					支出の部				
N o	名目	単価	員数	金額	N o	名目	単価	員数	金額
1	会場費		1	177,100	1	会場費		1	177,100
2	参加費	1,000	58	58,000	2	資料代	620.4	100	62,040
3	印刷製本費		1	32,040	3	交流会費	5,000	67	335,000
4	印刷協力金		1	30,000	4	昼食会	2,000	45	90,000
5	交流会費	5,000	67	335,000					
6	昼食会費	2,000	45	90,000					
収入合計				722,140	支出合計				664,140
差引金額									58,000

・会場借用料 177,100 円は、東北経済産業局様から助成を受けております。

・マイクロバス 2 台は、会場のホテルラフィーナ様にご協力を頂いております。

令和元年度東北 I M 連携協議会収支決算書

(単位：円)

収入の部					支出の部				
N o	名目	単価	員数	金額	N o	名目	単価	員数	金額
1	前年度繰越金			53,731	1	HP 更新代		一式	18,144
2	WS 能代会費残			48,000	2	Award 賞状盾等		一式	36,720
3	WS 南相馬会費残			58,000	3	WS 印刷費協力			30,000
4					4	振込手数料			550
収入合計				159,731	支出合計				85,414
差引金額									74,317

差引金額合計

74,317 円は、令和元年度への繰り越しとする。

監査報告

令和元年度度東北 I M連携協議会の収支決算並びに関係書類について監査した結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。

令和2年6月2日

監 事 横 山 繁 美 

監 事 佐 藤 利 雄 

2) 第2号議案

・令和2年度事業計画（案）について

① ワークショップ開催事業

- ・東北IM連携協議会ワークショップ in 新庄 (7月9日～10日) ＊コロナ対策のため中止
- ・東北IM連携協議会ワークショップ in 石巻 (10月29日～30日)

② 他機関との連携事業

- ・ビジネスマッチ東北2020への出展及びマッチング支援（令和3年3月10日）

③ 各県スキルアップ研修への協力

- ・山形県福島県宮城県3県合同スキルアップ研修（9月中旬仙台市）
- ・青森県スキルアップ研修（2回 7月下旬 AOMORI STARTUP CENTER、1月中旬 AOMORI STARTUP CENTER）

④ 東北の女性起業家発掘育成支援ネットワーク構築事業への参画と協力

- ・同事業の自走化に伴い、地域主催事業との連携やJBIAと連携して事業実施を行った「Start-up Attendant 養成研修」修了生との連携事業及び「SA認定」の開始を視野に入れ、フェーズ0.1. 支援の充実を図ると同時に、起業アテンダントとの連携支援を提案し、女性の起業支援に対する理解と普及を実施する。

⑤ IM関連情報の発信

- ・freeml サービス終了（12月2日）により独自ドメインメーリングリストでの対応と変更する。
- ・全国各地域IM連携組織の事業等について、ホームページ等を活用し会員へ情報発信を行う。
- ・メーリングリストによる情報発信

東北IM連携協議会（一般会員：122名）

メーリングリストの概要

アドレス：taim02@taim.jp 管理者：斉藤方達（石巻専修大学）

東北IM連携協議会（役員用：24名）

アドレス：tohoku-im@taim.jp 管理者：斉藤方達（石巻専修大学）

⑥ 事業計画立案や活動内容検討

- ・支援企業ビジネスマッチング事業（仮称）を検討
- ・会員の増強

⑦ その他協議会の目的に資する事業

- ・日本立地センター、JBIA、東北経済産業局、基盤整備機構等への事業協力

⑧ ワークショップ輪番について

山形（R2）⇒宮城（R2）⇒岩手（R3）⇒青森（R3）⇒秋田（R4）⇒福島（R4）

3) 第3号議案

・役員改選（案）について

令和2年度が役員改選期であるが、コロナウイルス感染防止対策のため総会を書面としたため役員を留任とし、年度末に役員改選を改めて行うこととする。

東北IM連携協議会役員（～令和2年度末まで）

代表幹事：	柿崎 博美	（公財）あきた企業活性化センター
事務局長：	佐藤 亮	花巻市起業化支援センター
幹 事：	加藤 雅紹	（公財）21 あおもり産業総合支援センター
	庄司 孝一	山形 IM 連携協議会 会長
	新城 榮一	（特非）福島県ベンチャー・SOHO・テレワーカー共働機構
	斉藤 方達	石巻専修大学
	工藤 裕之	（独）中小企業基盤整備機構・東北大学連携 BI（T-Biz）
	上平 好弘	弘前大学 社会連携部 地域連携コーディネーター
	鈴木 尚登	Be linked 代表 Biz サポートよこて IM
	平野 豊	（公財）釜石・大槌地域産業育成センター
	田中 章広	（特非）相双NPOセンター
	舟越 博紀	（公財）山形県企業振興公社
	石川 宙生	（公財）みやぎ産業振興機構
監 査：	佐藤 利雄	科学技術振興機構 産学連携展開部
	横山 繁美	山形県 3R推進環境コーディネーター

4) その他

東北 IM 連携協議会規約

第1章 総則

第1条(名称)

本会は、「東北 IM 連携協議会」(Tohoku Association of IM . 略称「TAIM」)と称する。

第2条(目的)

本会は、会員相互の連携を図り、東北地域におけるインキュベーション活動および地域の発展に資することを目的とする。

第3条(活動)

本会は、目的達成のために以下の活動を実施する。

- 1) 情報発信及び情報共有
- 2) 会員や関係機関のネットワーク形成
- 3) 会員及び関係者のスキルアップ
- 4) その他、目的達成に資する活動

第2章 会員

第4条(種別)

本会の会員は、次のとおりとする。

- 1) 正会員 : インキュベーション活動を実施する団体及び個人
- 2) 賛助会員: インキュベーション活動に関係する団体及び個人
- 3) 名誉会員: 幹事会が承認した団体及び個人

第5条(会員情報)

本会の会員は、連絡先を本会に届けなければならない。また、変更が生じた場合も同様とする。

第3章 会議

第6条(種別)

本会は、総会及び幹事会を開催する。

- 1) 総会は、全会員で構成する。
- 2) 総会は、年1回の定期会と必要に応じて、臨時会を幹事会が召集する。
- 3) 幹事会は、代表幹事、事務局長、幹事、監査で構成する。
- 4) 幹事会は、必要に応じて代表幹事が召集する。

第7条(議決)

会議の議決は、出席者の過半数の同意によって決し、議決内容は会員により尊重する。

第4章 組織

第8条(種別)

本会は、次の役員をおくことができる。

- 1) 代表幹事及び事務局長(各1名)
- 2) 幹事(若干名)
- 3) 監査(若干名)

第9条(選出)

代表幹事及び事務局長、監査は総会において選出する。

幹事は、代表幹事が指名し、事務局長の同意を得て選任する。

第10条(任期)

役員の任期は三ヵ年とし、再任を妨げない。

第11条(事務局)

事務局は、事務局長の下に行う。

連絡窓口を東北経済産業局に置く。

第12条(顧問・相談役)

本会の運営の助言を行うために、次の役職を招請することが出来る。

- 1) 顧問
- 2) 相談役

附則

1. 総会において、出席者の2/3以上の賛同のあるときに、本規約の改正・変更ができる。
2. 代表幹事が職務の執行を出来ない場合は、事務局長が監査の同意のもと職務を代行できる。
3. 実施

本規約は平成24年7月6日より実施する。